

2019年7月7日 16時33分

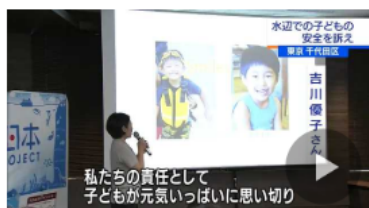
NHK NEWS WEB

2019年（令和元年）

首都圏 NEWS WEB

子どもの水難事故を防ぐセミナー

07月07日 16時33分



水の事故が増加する本格的な夏を前に、川で息子を亡くした両親が都内でセミナーを開き、ライフジャケットの着用や適切な救命処置の実施など、水辺での子どもの安全を訴えました。

神奈川県鎌倉市に住む吉川優子さん、豊さん夫妻は7年前、当時5

歳の一人息子を川での事故で亡くし、それをきっかけに、子どもの水辺での安全を守る活動を全国で行っています。

2人が7日、東京・千代田区で開いたセミナーには、保育士や学校関係者などおよそ40人が参加し、初めに吉川優子さんが「私たち大人の責任として安全や予防の理解を深め、子どもたちが元気に挑戦できる環境を整えることが大事です」と訴えました。

そして、水辺で遊ぶ際には必ずライフジャケットを着用するよう呼びかけるとともに、事故に備えて医師の指導のもとで心肺蘇生の講習会も開かれました。

子どもが川や海で溺れた際には、飲み込んだ水を吐き出させるのではなく、人工呼吸や胸の骨の圧迫を優先することが重要だということで、保育園を運営する法人に勤める30代の男性は「学んだことを保育園で広めたい」と話していました。

吉川優子さんは「防げる事故は多いので、1つでも減るよう多くの人と情報共有を進めたい」と話していました。

水の事故が増加する本格的な夏を前に、川で息子を亡くした両親が都内でセミナーを開き、ライフジャケットの着用や適切な救命処置の実施など、水辺での子どもの安全を訴えました。

神奈川県鎌倉市に住む吉川優子さん、豊さん夫妻は7年前、当時5歳の一人息子を川での事故で亡くし、それをきっかけに、子どもの水辺での安全を守る活動を全国で行っています。2人が7日、東京・千代田区で開いたセミナーには、保育士や学校関係者などおよそ40人が参加し、初めに吉川優子さんが「私たち大人の責任として安全や予防の理解を深め、子どもたちが元気に挑戦できる環境を整えることが大事です」と訴えました。

そして、水辺で遊ぶ際には必ずライフジャケットを着用するよう呼びかけるとともに、事故に備えて医師の指導のもとで心肺蘇生の講習会も開かれました。

子どもが川や海で溺れた際には、飲み込んだ水を吐き出させるのではなく、人工呼吸や胸の骨の圧迫を優先することが重要だということで、保育園を運営する法人に勤める30代の男性は「学んだことを保育園で広めたい」と話していました。

吉川優子さんは「防げる事故は多いので、1つでも減るよう多くの人と情報共有を進めたい」と話していました。